

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2013
4月
No.94

特集

P2・3

つながりふくしプランの推進で
地域のつながりを太く!
平成25年度事業計画と予算

ひ孫と
いっしょ
シリーズ93
千種町 河内
はやし 林 定さん(86歳)
とし 敏子さん(84歳)
ゆうが 夕華ちゃん(1歳2ヶ月)
はやし 林 克年さん・あゆみさん
■長女

つながりふくしプランの推進で 地域のつながりを太く!

平成25年度事業計画と予算



小地域福祉活動第1期モデル地区 鶴木福祉連絡会では、毎年、連絡会の役員と子どもたちがひとり暮らし高齢者宅等の「年末見回り活動」に取り組んでいます(H24.12.25 鶴木自治会内)

宍粟市社会福祉協議会では、3月29日(金)の第21回評議員会において、平成25年度事業計画ならびに予算を可決しました。今号では、平成25年度の基本方針と重点事業、一般会計予算をお知らせします。

基本方針

- 本年度は「宍粟市社協第2次地域福祉推進計画(つながりふくしプラン)」の第3年次(中間年)となります。年次計画に基づき、本計画を着実に推進します。また、地域福祉活動の活性化を図るため、「第2次地域福祉推進計画を進める会」において、計画の進捗状況を把握するとともに中間評価を行い、周囲の状況を見ながら必要があれば計画内容を見直します。
- 全社協地域福祉推進委員会が、昨年10月29日に決定した「社協・生活支援強化方針」に基づいた活動を展開するとともに、兵庫県社協の重点的な取り組みである「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンに協賛し、本会としてもその一翼を担う取り組みを進めます。
- 宍粟市における地域福祉の推進については、政策提案も行いながら、平成25年度に策定が予定されている「第2次宍粟市地域福祉計画」の策定に協力します。とりわけ、限界集落化していく地域の福祉活動や権利擁護事業の推進については、行政と連携した取り組みを進めていきます。

1 自治会域での福祉の つながりづくりを進めます

○「小地域福祉活動第1期モデル地区指定事業」では、第2年次(最終年)の取り組みをモデル地区と共に進めます。

○「自治会福祉連絡会」を中心に地域住民や関係機関が連携し、支援の必要な方の見守りネットワークづくりを進めます。

2 宍粟市全域での福祉の つながりづくりを進めます

○生きづらさを抱え、地域で孤立しがちな人たちが、様々な活動を通じて社会参加ができる「当事者の会」の結成や活動支援を行います。

○退職世代の方たちや青少年等が、ボランティア・市民活動に参加できる機会をつくりまします。

3 地域での暮らしを 支えるためのつながり づくりを進めます

○福祉や介護、結婚など日常生活に関わるあらゆる相談を受け付け、行政等専門機関と連携し、相談・援助を進めます。

○心配ごと相談に代わり、弁護士による「無料法律相談」を2か月に1回行います。

○社協の地域福祉担当者と介護分野の職員が連携して地域の課題解決に取り組める「地域生活支援会議」を発定させます。

4 社会福祉協議会の 基盤強化を進めます

○「支部地域福祉推進委員会」の活性化を図り、「支部福祉計画の策定」など支部の活動を強化します。

○「社会福祉法人新会計基準」への移行は、平成25年度中に行います。そのために必要なプロジェクトチームを発足します。

平成25年度一般会計 収入は **4億3,363万4千円** (前年度比398万1千円の増額)

■経理区分ごとの収支予算額

(単位:千円)

経理区分	本年度予算	前年度予算	差引増△減額	前年度対比	備 考
法人運営事業	72,483	73,623	△ 1,140	98.5%	“法人社協”の運営を行う事業です
地域福祉事業	48,477	49,540	△ 1,063	97.9%	地域福祉全般にわたる事業です
介護保険事業	236,390	238,301	△ 1,911	99.2%	
居宅介護支援事業	66,765	72,066	△ 5,301	92.6%	山崎、一宮、波賀、千種 4事業所
訪問介護事業	89,285	76,427	12,858	116.8%	ホームヘルプサービス 2事業所
通所介護事業	67,410	78,498	△ 11,088	85.9%	デイサービス 1事業所
訪問入浴介護事業	12,930	11,310	1,620	114.3%	自宅を訪問しての入浴サービス 1事業所
障害者ホームヘルプ事業	9,744	8,877	867	109.8%	2事業所 利用者増を見込み増額
共同募金配分金事業	13,302	11,611	1,691	114.6%	
一般募金配分金事業	10,012	8,321	1,691	120.3%	24年度共同募金による配分金
歳末たすけあい配分金事業	3,290	3,290	0	100.0%	25年度歳末たすけあい募金による配分金
介護予防等事業	41,402	35,832	5,570	115.5%	通所型介護予防事業委託料が増額
敬老会事業	11,836	11,869	△ 33	99.7%	市からの敬老会事業補助金
収入合計 (1)	433,634	429,653	3,981	100.9%	
法人運営事業	71,958	74,850	△ 2,892	96.1%	
地域福祉事業	48,427	49,576	△ 1,149	97.7%	
介護保険事業	234,560	239,811	△ 5,251	97.8%	
居宅介護支援事業	66,283	70,966	△ 4,683	93.4%	山崎、一宮、波賀、千種 4事業所
訪問介護事業	87,937	78,090	9,847	112.6%	ホームヘルプサービス 2事業所
通所介護事業	67,410	78,113	△ 10,703	86.3%	デイサービス 1事業所
訪問入浴介護事業	12,930	12,642	288	102.3%	自宅を訪問しての入浴サービス 1事業所
障害者ホームヘルプ事業	9,625	8,007	1,618	120.2%	
共同募金配分金事業	13,302	12,891	411	103.2%	
一般募金配分金事業	10,012	8,321	1,691	120.3%	24年度共同募金の配分金を活用
歳末たすけあい配分金事業	3,290	4,570	△ 1,280	72.0%	25年度歳末たすけあい募金の配分金を活用
介護予防等事業	41,402	35,895	5,507	115.3%	通所型介護予防事業費が増額
敬老会事業	11,836	11,869	△ 33	99.7%	
支出合計 (2)	431,110	432,899	△ 1,789	99.6%	
当期資金収支差額合計 (3) = (1) - (2)	2,524	△ 3,246	5,770	平成 25 年度の総収入予算額 - 総支出予算額	
前期末支払資金残高 (4)	101,700	108,051	△ 6,351	平成 24 年度分の繰越金	
当期末支払資金残高 (3) + (4)	104,224	104,805	△ 581	平成 25 年度末の資金残高予定額	

法人運営事業 法人運営、善意銀行運営
 地域福祉事業 地域福祉活動、生活福祉資金貸付、まごころ福祉資金貸付、日常生活自立支援事業、総合相談
 介護予防等事業 福祉機器貸出・介護用品斡旋、出会いサポートセンター、ボランティア・市民活動センター
 通所型介護予防事業、配食サービス

平成25年度予算の特徴

収入は昨年度より398万1千円(0.9%)増

- 介護保険事業については、利用者のみなさんにこれまで以上に社協の介護サービスを利用いただけるよう、より良いサービスの提供に努め、介護保険収入の増額につながるよう努力します。
- 市の意向を受け、通所型介護予防事業の充実を図ります。
- 善意銀行預託金収入については、昨年度の実績をもとに予算を組んでいます。
- 善意銀行預託金が地域福祉を進めるための貴重な財源であることを住民のみなさんに理解いただけるよう、使い途をわかりやすく説明し、預託の推進をはかります。

支出は178万9千円(0.4%)減

- 事務の効率化や経費の削減に努め、少ない財源でも十分な効果が得られるよう、工夫していきます。
- 昨年度はデイサービスの特殊浴槽等大型備品が老朽化したことによる取り換えを行いました。今年度はデイサービスの介護用ベッドの購入等を予定しており、多額の支出は予定していません。
- 支出予算に占める人件費は283,209千円で、65.7%です。社協の仕事が人で動いていることを示す数字です。

※本年度の事業計画書、予算書の詳細については、本会本部・各支部窓口でご覧いただけます。い遠慮なく、お申し付けください。

やさしさ

学校生活の中に手話を!

菅野小学校の取り組み

菅野小学校では、全校朝会のあいさつをはじめ、学校生活の中に簡単な手話を取り入れています。

これは、福祉学習の一環として、校内の手話経験者(先生)を中心に、児童と先生が手話を学んでいこうという取り組みです。

3月6日(水)には、宍粟ろうあ協会の方を講師に招いて、先生を対象に手話のスキルアップをめざした勉強会が行われ、普段の生活の中で不便なことや困ったことなど体験談を聴いたり、手話の動作を詳しく学びました。

参加した先生からは、「実体験が聞けて、とても勉強になりました」「子どもに教えることができるくらいになればいい」「これからも定期的に続けていきたい」といった感想があり、有意義な勉強会になりました。



普段は教える立場の先生もこの日は真剣に勉強中(菅野小学校)

手話によるコミュニケーションは、聴覚障がい者への理解や言葉の大切さ、伝えることの大切さを学ぶことができます。

(山崎支部 森井裕矢)

自然の中で遊んでたくましく

ボーイスカウト宍粟第3団

3月31日(日)、日本ボーイスカウト宍粟第3団では、「春休みワクワクぼううけんハイキング」を神戸小学校グラウンドで行い、小学生や保護者など9人がボーイスカウトの活動を体験しました。

「さあ、全員輪になって」の声とともに、自己紹介を兼ねたアイズブレイク(ゲーム)が始まり、緊張していた子どもたちの表情が徐々にほぐれていきます。

続いて、スタンパカードを手にゲームハイキングに挑戦です。写真やクイズをヒントに、伊和神社の鶴石や名畑観音堂(須行名)など目的地をめざしました。

昼食後は、アスレチックで冒険遊び。高さ2mを超えるところに張ら



子どもたちにとってアスレチックは「冒険」です(神戸小グラウンド)

【代表者連絡先】植木 保
電話:090-1963-6817
Eメール:ueki2791@meg.winknet.ne.jp

れたロープの上を渡って行くのですが、揺れることもあり、恐る恐るモンキーブリッジに挑戦する子どもたち。

「自然の中で遊びながら、いろんなことを身につけて、たくましく育ってほしい」と、団委員長の高木保さん。

宍粟第3団では、小学校就学前年(年長)から中学3年生までの男女を随時募集しています。体験入隊もできますので、お気軽にお問合せ下さい。

(本部・一宮支部 波多野好則)

いのち

は
が

いつも寄らせてもらうのが楽しみ!

原ささゆりの会



中谷さんが歌う「きよしのズンドコ節」に合わせて踊る、原ささゆりの会の皆さん(原公民館)

たのに、こんなに立派になつて...と、成長を喜んでい

たときは小さかつ

「ここに來はじめ
迎えた3人の6年
生が、「私は獣医に
なつて動物病院を
作りたい」など、
将来の夢をそれぞ
れ発表しました。

当日は、卒業を
寄りなど70人が集
まりました。

原公民館で行われ
たふれあいサロン
に、小学生やお年
ま

3月20日(祝)、
活動を紹介します。
ささゆりの会」の

6年目を迎える「原
ささゆりの会」の
活動を紹介します。

おぼあちゃんたちの姿が印象
的でした。

続いて「五木の笹うどん&
かえで園慰問トリオ(中谷浩
臣さん他3人)」が登場。懐か
しい歌のステージに会場から
手拍子が起こりました。

「いつも寄らせてもらうん
が楽しみなんや」と参加者の
みなさんは嬉しそうに話され
ます。



おじいちゃん、おばあちゃんたちを前に、
3人の6年生が「ふるさと」を合唱

(波賀支部 平 有利菜)

「これから、男性向けの
内容も充実させたい」と、グ
ループ代表の丸井豊子さんが
話されるように、原ささゆり
の会は誰もが気軽に集まれる
居場所づくりに意欲的です。

「これからも、男性向けの
内容も充実させたい」と、グ
ループ代表の丸井豊子さんが
話されるように、原ささゆり
の会は誰もが気軽に集まれる
居場所づくりに意欲的です。

「これからも、男性向けの
内容も充実させたい」と、グ
ループ代表の丸井豊子さんが
話されるように、原ささゆり
の会は誰もが気軽に集まれる
居場所づくりに意欲的です。

「これからも、男性向けの
内容も充実させたい」と、グ
ループ代表の丸井豊子さんが
話されるように、原ささゆり
の会は誰もが気軽に集まれる
居場所づくりに意欲的です。

「これからも、男性向けの
内容も充実させたい」と、グ
ループ代表の丸井豊子さんが
話されるように、原ささゆり
の会は誰もが気軽に集まれる
居場所づくりに意欲的です。

「これからも、男性向けの
内容も充実させたい」と、グ
ループ代表の丸井豊子さんが
話されるように、原ささゆり
の会は誰もが気軽に集まれる
居場所づくりに意欲的です。

「これからも、男性向けの
内容も充実させたい」と、グ
ループ代表の丸井豊子さんが
話されるように、原ささゆり
の会は誰もが気軽に集まれる
居場所づくりに意欲的です。

「これからも、男性向けの
内容も充実させたい」と、グ
ループ代表の丸井豊子さんが
話されるように、原ささゆり
の会は誰もが気軽に集まれる
居場所づくりに意欲的です。

「これからも、男性向けの
内容も充実させたい」と、グ
ループ代表の丸井豊子さんが
話されるように、原ささゆり
の会は誰もが気軽に集まれる
居場所づくりに意欲的です。

ち
くさ

公民館に集まれ! 今日は楽しいお食事会

「みんなと一緒に食
べるとよけいにおいし

始まりです。

準備を手伝ったり、出
来上がりを待つ間小さ

い子の面倒を見たりし
て、和やかに食事会が

始まります。

大きい子は食事の
準備を手伝ったり、出
来上がりを待つ間小さ

い子の面倒を見たりし
て、和やかに食事会が

始まります。

準備を手伝ったり、出
来上がりを待つ間小さ

い子の面倒を見たりし
て、和やかに食事会が

始まります。

準備を手伝ったり、出
来上がりを待つ間小さ

い子の面倒を見たりし
て、和やかに食事会が

始まります。

準備を手伝ったり、出
来上がりを待つ間小さ

い子の面倒を見たりし
て、和やかに食事会が



1歳から6年生までが集まりました(室公民館)

「ランドセルのまま
公民館へ帰ってくる子
もいるんですよ」と子
ども会役員の河野知世
さん。

3月22日(金)、こ
の日は6年生を送る会
を行い、22名の子ども
たちが参加しました。

「ランドセルのまま
公民館へ帰ってくる子
もいるんですよ」と子
ども会役員の河野知世
さん。

3月22日(金)、こ
の日は6年生を送る会
を行い、22名の子ども
たちが参加しました。

「ランドセルのまま
公民館へ帰ってくる子
もいるんですよ」と子
ども会役員の河野知世
さん。

3月22日(金)、こ
の日は6年生を送る会
を行い、22名の子ども
たちが参加しました。

「ランドセルのまま
公民館へ帰ってくる子
もいるんですよ」と子
ども会役員の河野知世
さん。

3月22日(金)、こ
の日は6年生を送る会
を行い、22名の子ども
たちが参加しました。

「い」と手
作りのラン
チをほおばる子どもたち。
これからのような取組
みが長く続くことを願って
います。

「い」と手
作りのラン
チをほおばる子どもたち。
これからのような取組
みが長く続くことを願って
います。

「い」と手
作りのラン
チをほおばる子どもたち。
これからのような取組
みが長く続くことを願って
います。

「い」と手
作りのラン
チをほおばる子どもたち。
これからのような取組
みが長く続くことを願って
います。

「い」と手
作りのラン
チをほおばる子どもたち。
これからのような取組
みが長く続くことを願って
います。

「い」と手
作りのラン
チをほおばる子どもたち。
これからのような取組
みが長く続くことを願って
います。

「い」と手
作りのラン
チをほおばる子どもたち。
これからのような取組
みが長く続くことを願って
います。



「さあ、公民館へ行くぞ!」

読者の
感想より

毎月家にくるのがとても楽しみです。今月はどんな記事が載っているのか、胸をふくらませています。これからも楽しみにしていますね。(山崎町 女性)

伝わってよかった! “うれしい”点字体験



打った点字は、大島さんに
読んでもらいました

3月9日(土) メイプル福祉センター

「点字にふれる体験教室」に、10名が参加しました。教室では、点字ボランティアの皆さんと、視覚障がい者である大島千明さん(波賀町安賀)を招き、点字を打つ体験やバリアフリーについて学び、障がいについて理解を深めました。

参加者は自分で打った点字が伝わると「よかった!」と思わずホッとした表情。

「点字を打つだけでなく、大島さんから直接お話を聞くことができるので良いですね」と熱心に聞き入っておられました。

このような体験を続けることで、誰もが住みやすい町づくりを進めていきます。

(波賀支部 草田希望)

3.11東北へ届け!



震災の発災時刻にあわせて黙祷

3月11日(月) 一宮保健福祉センター

東日本大震災から2年となるこの日、一宮ボランティア連絡協議会では、災害からみんなの思いを東北へ届けようと追悼行事を行い、約60名が参加しました。

一宮保健福祉センター中庭で、ペットボトルの灯ろうで「3.11」の文字をつくり、午後2時46分の発災時刻にあわせて黙とうを行いました。

ペットボトルは、灯ろうづくりのため、みなさんから約700本提供いただき、「絆」「希望」「未来」など東北へ向けてのメッセージを書き、被災地の復興を祈りました。
(本部・一宮支部 田中祥仁)

けいちょう

傾聴ボランティア 「ロバの耳」誕生!



講座では笑って表情豊かに!

3月28日(木) 災害防災センター

全3回の傾聴ボランティア講座を受講した21名は、講師の松尾やよい先生によるユーモアあふれる指導で、楽しく話し方や聴き方のコツを基礎から学びました。

「学んだことを活かして、少しでも人の役に立てたら…」と多くの声により、傾聴ボランティアグループ「ロバの耳」を結成し活動することになりました。「まず最初は、施設に行こう」とみんなの意見がまとまりました。

これからの活動が一人でも多くの心を癒す活動につながるよう応援していきます。

(山崎支部 横山洋子)

手話サークル ドーナツ・さち・なのはなより

勉強会の日程変更のお知らせ

	ドーナツ (一宮)	さち (波賀)	なのはな (千種)
開催日	第2、4 火曜日	第1、2、3 金曜日	第1、3、4 水曜日
会 場	センター いちのみや	市民センター はが	センター ちくさ
時 間	19:30~21:00		

これまで市内北部域で活動する手話サークル3グループが、合同で勉強会を行っていましたが、4月からそれぞれ会場が変更しました。

手話を通したいろいろなイベントなどもありますので、興味のある方、ぜひお越しください。

